



いのししさん

井の頭

吉祥寺

7号

2012年11・12月号

井の頭恩賜公園開園100周年カウンタダウン新聞

連載絵本 コイ太郎の巻 その7

井の頭恩賜公園
開園100周年まで
あと4年6ヵ月

せのうさちこ 1975年 盛岡市で生まれる。小6で三鷹へ転校。
アニメ動画から絵本に進む。三鷹市在住。

INFORMATION 2012年11月～12月

井の頭自然文化園

企画展

●野口雨情の詩を彩る野鳥画展～谷口高司作品展
11月8日(木)～11月25日(日)
場所: 動物園 彫刻館A館 特別会場

特設展示

●Wonder Hut Returns
どうぶつのふしぎがいっぱい
1月2日(月)～11月25日(日)
場所: 動物園 資料館

事前募集

●野鳥画展 関連イベント

①お話会「野鳥図鑑の制作現場から」(お話: 谷口高司)
11月17日(土) 13時30分～15時
【対象】高校生以上60名 【締切】平成24年11月10日(土)

②「大人のためのタマゴ式鳥絵塾～カモ編」(講師: 谷口高司)
平成24年11月24日(土) 10時～12時
【対象】中学生以上30名 【締切】平成24年11月15日(木)

「大人のための動物園・水族園講座」参加者募集
12月2日(日) 10:00～15:00「大人のためのリス学」
12月8日(土) 10:00～15:00「自然文化園ゆったりガイド」
【対象】16歳以上 【締切】平成24年11月14日(水) 消印有効

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.tokyo-zoo.net/zoo/ino/index.html>



アートマーケットと
ヘブンアーティストな人々

ピカさん(顔面紙芝居)

にぎわう井の頭公園から、時折子どもたちの元気いっぱいの声が聞こえてきます。その声の源にしているのがピカさんです。

巨大な紙芝居舞台に、登場人物の顔がくり抜かれた紙芝居をセット。そこからピカさんが顔をのぞかせます。紙芝居のほか、歌ありクイズありと盛りだくさんのプログラムです。

ある日の演目では、おばけのお面を着けたピカさんが舞台から飛び出してきました。「どうだ、怖いだろう」と声を張り上げると、子どもたちは声をそろえて「全然、だいじょうぶー!」と叫び、おばけを負かしてしまいました。

DJだったピカさんは、原宿に歩行者天国があったところにパフォーマンスで注目され、テレビでも活躍。顔面紙芝居は14年前に始めました。大人向けの演目もありますが、「子どもには触れ合いを大切にしてもらいたいです。ここで大声を出して、どこかでいじめられたときにも大声が出せるように」。プログラムにはピカさんの温かい思いがこもっています。

小田原 澪 (おだわら みお) 編集者・ライター。フィールドは多摩。三鷹市在住。

アートマーケットは、主に土日祝日に開催しています。
特例で12月17日(月)～21日(金)も開催します。12月22・23・24・29・30日は開催しません。



子どもたちが身を乗り出して
大声でおばけ退治



登場人物の顔にピカさんの顔が
はまって、物語が進みます

井の頭恩賜公園	
●TERATOTERA festival 2012	11月3日(土)、4日(日) 場所: 御殿山・西園競技場内
●わくわくこども動物園IN吉祥寺	11月11日(日) 場所: 御殿山
●第65回東京土建祭	11月11日(日) 場所: 西園競技場内
●東京ガス環境イベント	11月18日(日) 場所: 野外ステージ及び周辺
●第3回ふるさと田園フェスティバル	11月25日(日) 場所: 野外ステージ及び周辺
詳しくはホームページをご覧ください。 http://inokashirapark100.com/index.html	

井の頭かんさつ会	
●第90回「どんぐり観察」	11月25日(日) 10:00～12:00
●第91回 望年観察会	12月22日(土) 時間・テーマ未定
事前申し込みが必要です。 詳細や申し込み方法はHP http://www.kansatsukai.net/ に載せます。	

井の頭恩賜公園で
『全国都市緑化フェア』開催

2012年9月29日から10月28日の1ヵ月間、第29回全国都市緑化フェアTOKYOが井の頭恩賜公園他5園で開催されました。(今月号の「イノコガノメ」ご参照)

元日産厚生園跡地に出現した会場は、緑のテーマパークという感じ。1ヵ月で消える会場に、もったいないという声も多く聞かれました。

飼育展示係 田口 眞隆



井の頭公園の生き物たち その7 ソメイヨシノ

井の頭かんさつ会 田中 利秋 (たなか としあき) 井の頭かんさつ会代表。毎月自然観察会を開催。池の外來魚問題にも取り組む。

「敷会」が治療中の池畔の桜

起死回生の「回生根」

井の頭公園といえば春の池畔の桜。池の上まで大きく張り出して咲き誇る桜はじつに見事で、多くの花見客で賑わいます。池畔の桜の大部分を占めるソメイヨシノは接ぎ木や挿し木でしか増やせないため、すべての木が同じ遺伝情報を持つクローンです。どの木も性質が同じなので一斉に花を咲かせるのです。寿命が比較的短いという望ましくない性質も皆同じです。池畔の桜はすでに70歳ほどで、幹が弱りキノコが付くなど樹勢の衰えが目立ちます。日照を好むのに隣の木の陰になったり、根



「敷会」が治療中の池畔の桜

起死回生の「回生根」

井の頭公園といえば春の池畔の桜。池の上まで大きく張り出して咲き誇る桜はじつに見事で、多くの花見客で賑わいます。池畔の桜の大部分を占めるソメイヨシノは接ぎ木や挿し木でしか増やせないため、すべての木が同じ遺伝情報を持つクローンです。どの木も性質が同じなので一斉に花を咲かせるのです。寿命が比較的短いという望ましくない性質も皆同じです。池畔の桜はすでに70歳ほどで、幹が弱りキノコが付くなど樹勢の衰えが目立ちます。日照を好むのに隣の木の陰になったり、根

「いのけん」講座 答え合わせ

問題1

答え…③

解説…戦後の混乱を経た一時期、井の頭恩賜公園では夏の一大イベントとして花火大会と美人コンテストが行われました。

問題2

答え…②

解説…カエデ、マツ、シデの仲間はプロペラがあり、くるくる回って滞空時間を伸ばしています。

井の頭かんさつ会 田中 利秋 <http://homepage2.nifty.com/tnt-lab/>



暗くなるのを待っている若鳥

元を踏みつけられたり舗装で固められたりしていることも衰えを早めています。池に向かって伸びた幹と枝は懸命に光を求めた苦勞の跡です。その傾いた幹を支えられるほど根が伸びられずに倒れてしまうことも多く、池畔の桜の多くがつかいか棒で支えられています。

若木への更新も一部行われていますが、コスト面や、花見に適さない期間ができるなどの問題があり、一気にではできません。公園では様々な方法で桜の樹勢回復を試みており、その中の起死回生の策とも言えるものが、NPO法人「敷会」の協力で実施している、「不定根」を地面まで導く方法です。ソメイヨシノは、幹が弱って水や養分の通りが悪くなると、幹の途中から根を出して新たな通路を確保しようとします。根の定位置である幹の下以外のところから出る根を不定根と呼びます。左の写真で幹の中央を走っているものがそれで、不定根が地面に達し、その上に新たな枝が出れば、木は若返ります。私は桜の不定根を、その役割を表す「回生根」と呼ぶよう提案しています。右の写真は私が知っているうちで最も見事な復活例で、公園の近所のお宅の桜です。まるで古い幹が剥がれて新たな幹が現れたように見えますが、根です。

多くの人がソメイヨシノの性質や悩みを理解し、花の時期だけでなく一年じゅう気にかけるようになれば、もっと長く花を楽しませてくれることでしょう。



「回生根」で
完全復活した民家の桜

07 歴史は夜作られる

「楽園はよみがえるか」

カイツブリ通信

カイツブリは、得意の潜水で小魚やエビを捕まえる。小さな水鳥です。池や川にカッパルで縄張りを作って暮らし、子育てをします。

定住カイツブリがいなくなった井の頭池ですが、飛来する個体は今もいます。10月13日までの最近では、9月の3、11、20日、10月の2、5、6日に目撃情報があります。そのほとんどが今年生まれの若鳥です。10月5日の個体は若鳥、翌6日は成鳥でした。若鳥たちは親離れて新天地を探しているのです。

しかし、いずれも翌日はいませんでした。井の頭池はあっさり不合格になったのです。大きな池を見つけて喜んで下りたのに、餌になる生き物がいなくてがっかりしたに違いないと思うと、申し訳ない気がします。

「カイツブリが飛ぶのを見たことがない。飛べないのでは？」という人がいると思います。でも彼らには必要十分な翼があり、飛んで移動します。飛ぶのを見ないのは、天敵に襲われにくいよう夜間に飛行するからです。新たな場所を探す時間ができるだけほしい若鳥は、人にはよく見えないぐらいたく暗くなるたびに飛び立っています。

井の頭かんさつ会 田中 利秋 <http://homepage2.nifty.com/tnt-lab/>



写真 古賀 親宗 (こが もとのり)
1983年 福岡県柳川市生まれ。三鷹市在住のフォトグラファー。

『いのきちさん』について

都立井の頭恩賜公園が2017年5月に開園100周年を迎えます。『いのきちさん』は、もうすぐ100歳を迎える井の頭公園に、感謝の気持ちを込めて、地域の市民と企業と団体の協力により発刊された100周年カウントダウン新聞です。名称は**井の頭公園の「いの」、隣接する吉祥寺の「きち」、井の頭池が市内となる三鷹市の三「さん」**を並べたものです。

(奇数月1日の隔月発行です)
「いのきちさん」のホームページができました！更新中！
<http://www.inokichisan.com/>

「いのきちさん」を置いていただける所を募集しています。



スマートフォン対応



(注)井の頭公園に遊びに来ていた呉服関係の社員さん3人が助けた。その一人、大原玉治さんの「遺族の話によると、騒ぎを聞いて駆けつけたところ、流れが速く、友人とともに着物の帯を使って助け出したとのことだ。
『いのけん 井の頭公園検定公式問題解説集』(ぶんしん出版より)

(文・写真 川井信良)

家から近いので時折井の頭の池を歩き、伯父の殉難の碑にお参りをしております。特に、桜の咲くころの井の頭公園がいいですね。その公園を紹介している『いのきちさん』によって、伯父のことが改めて広く伝わることは、甥としてうれしく思います。
かと思っているんです。

伯父が立派な人だったことは、母の直子から聞いています。学究肌で思慮深い人だったそうです。伯父が眠っている雑司が谷の墓地には、今でもよく墓参りに行っています。エピソードがあるんです。殉職した後、全国にこの事故が報道され、葬儀も麹町区による大変大きなものになりました。手伝いに来た社会教育団体の職員の一人に母が見初められたのです。その男性が私の父の松本藤一郎でした。母が一人っ子になっていたので、父は長男でありながら入り婿となったのです。その時代としては大変な決断で、よほど母に惚れたようですね。(笑)今私が三鷹に住んでいるのは、訓導碑があるからというわけではなく、なにか縁があるからですね。大学は三鷹のICU、2期生です。実は東大にも受かったんですが、国際的な自由な校風を望んで、当時は無名のICUに決めちゃいました(笑)。担任の先生から「お前なに考えているんだ」とだいぶ叱られました。これも一徹な伯父の血の影響かもしれません。今の私があるのはICUのおかげであり、大学がある三鷹、井の頭公園がある三鷹、に引かれてきたのではないかと思っています。



▲松本訓導殉難の碑 除幕式 写真提供：松本吉見さん

松本吉見 (三鷹市在住)

私と井の頭公園その7 松本訓導は私の伯父 なぜか三鷹にご縁が



井の頭線が開通した頃の井の頭公園駅

井の頭公園駅は、吉祥寺駅から600mほどの隣駅。急行は止まらず、井の頭線の17駅のうち乗降者数は最も少なく、吉祥寺駅の約20分の1、渋谷駅の約50分の1で、1日に約6600人(2011年度)。改札口は1つで、駅前にコンビニ、カフェ、銀行のATMなどはありませんが、パチンコ店やドラッグストアはなく、いたって閑静です。
開通当初の帝都電鉄井の頭線は小豆色の1車両で運行。白襟で紺色の制服を着た女性車掌がドアの開閉、乗車券の車内販売、駅名のアナウンスなどの業務に就いたことでも話題になりました。
井の頭恩賜公園が開園したのは大正6年(1917)で、都心から訪れるにはすでに明治32年(1899)に開設された甲武鉄道(現JR)の吉祥寺駅がありました。井の頭公園駅ができて渋谷方面からアクセスがよくなり、しかも公園の東側からの散策コースが新たに誕生したことになります。駅の改札を出て公園に下る手前、現在は見晴台になっている場所には帝都電鉄の無料休憩所が設置されていて、おそらく今よりも観光地の雰囲気が強かったと想像されます。
昭和初期は首都圏の私鉄が次々と開通して都市化が進んだわけですが、駅前通り沿いを中心に今も残っているいくつかの古い邸宅を見るにつけ、当時この辺りに移り住んできた人々には富裕層が少なかつたことがうかがえます。
「母親が渋谷まで買い物に行ったとき、日が暮れて暗くなった道を、駅員さんに提灯で足もとを照らしてもらって帰ってきたのを覚えているよ」と、昭和1桁生まれの井の頭育ちの方から聞いたことがあります。映画の1シーンのようなエピソードをリアルに想像できるのは、今なお時の流れがゆったりとした閑静な町ならではです。

安田知代

安田知代 (やすだ ともよ)
編集者・ライター。井の頭公園「まるごとガイドブック」(曙かしの吉祥寺 昭和47・40年 編集者)

井の頭恩賜公園の歩み 第7話

公園脇の小さな駅で、昭和初期にタイムトリップ！
吉祥寺と渋谷を結ぶ京王井の頭線には、「井の頭公園」という小さな駅があります。公園に隣接した緑豊かな豊かな雲間気の駅は、昭和8年(1933)の帝都電鉄井の頭線の開通当初にできました。終点の吉祥寺駅までの全線が完成したのは、その翌年。公園や地域の発展の出発点ともいえる駅の昔をたどってみましょう。



現在の井の頭公園駅



▲池底の天日干し 写真引用：「埼玉県立大宮公園ポート池のいかぼりについて」埼玉県大宮公園事務所

かいぼり計画の目標は、多様な生物が水を浄化する池

2月に開催された「かいぼりシンポジウム」を機に、来年度のかいぼり計画の設計が進められています。西部公園緑地事務所によると、在来種の水草や水生生物の多様性を向上し、自然の浄化システムによって澄んだ水が保てる環境づくりを目指します。
ひょうたん橋の東側の「保護池」での在来生物の棲息が、前号でお伝えしたように危ぶまれている現実を受け、池を仕切って順番に行う当初の案を、池全体を一度にかいぼりする計画に変更。市民の参加を募りつつ、コストと効果のバランスを見ながら井の頭恩賜公園開園百周年の平成29年までの5年に渡って試みていく計画を考案しています。
目下、池底に眠っている在来植物の種を発芽させたり、近隣の公園の種を移植したりする方法や、木組みの護岸、水量の調節などの具体的な検討を進めているそうです。

よみがえれ！井の頭池⑦

『いのけん』(井の頭公園検定)講座

- 問題1 井の頭恩賜公園で昭和28年～31年に開催されていた美人コンテストの名称は？
1) 井の頭美人コンテスト 2) 吉祥寺美人コンテスト 3) ミス井の頭コンテスト 4) ミス吉祥寺コンテスト
- 問題2 カエデには、種を風に運んでもらうために、どんなしかけがあるのでしょうか？
1) 実に穴が開いて軽くなっている 2) 実にプロペラがついている 3) 実に風船のようなものがついている 4) 強い北風が吹くと実が離れるようになっている

答えは裏の面にあります。